

主体的に進路を選択した高3生は、高校生活に対する自己評価が高い

高校生活を振り返って自己評価をしてもらったところ、8割以上の高3生が「高校3年間で自分は成長した」「高校3年間の生活に満足している」と回答している（「とてもあてはまる」+「まああてはまる」）。また進路選択における主体性別にみると、主体的に進路を選択した高3生ほど、高校生活に対する自己評価が高い。一方で「社会問題について真剣に考えた」という回答は4割（「とてもあてはまる」+「まああてはまる」）にとどまっております、進路選択における主体性の高低に関わらずその割合は低い。

Q 高校生活の3年間で振り返って、次のことはどれくらいあてはまりますか。

図3-1 高校生活に対する自己評価(全体)

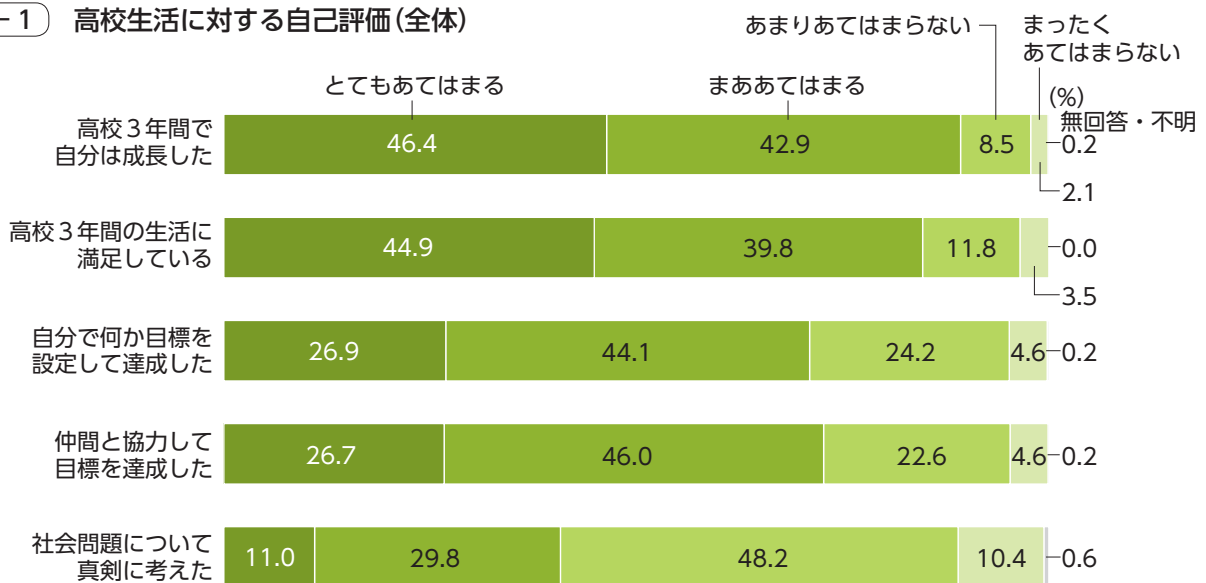
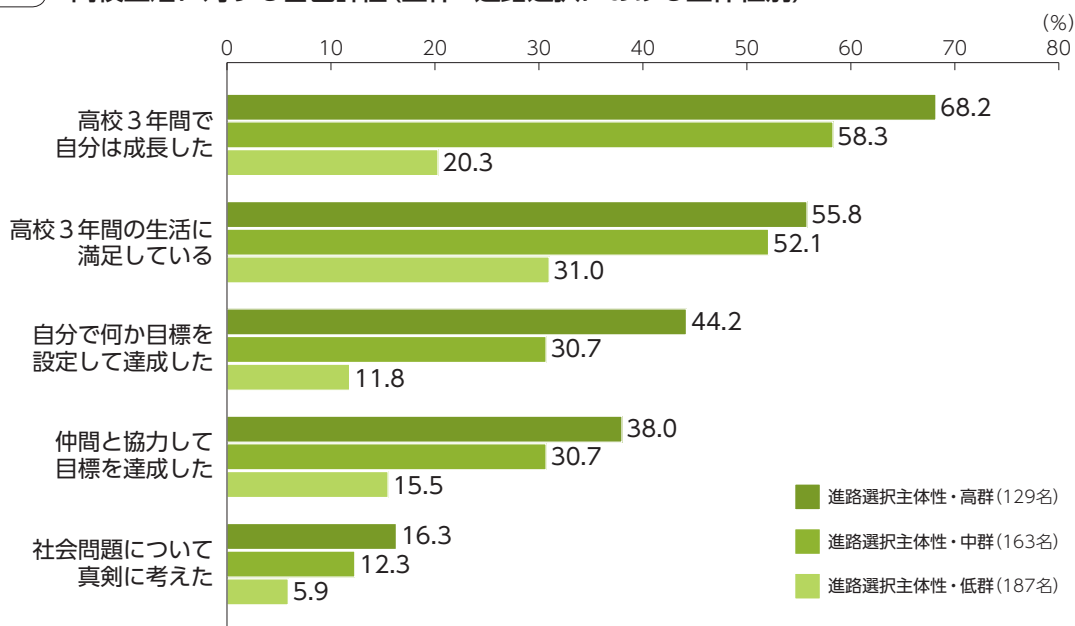


図3-2 高校生活に対する自己評価(全体・進路選択における主体性別)



注1 「進路選択主体性・高群」「進路選択主体性・中群」「進路選択主体性・低群」の分け方はP15の図2-15を参照(図3-2)。

注2 「とてもあてはまる」の% (図3-2)。